

第1回奈良県自立支援協議会 療育・教育講演会

次 第

日時:平成20年12月6日(土)

午前10時~午後3時30分 場所:奈良県文化会館 集会室A・B

1 開会あいさつ 奈良県福祉部障害福祉課長 古市秀俊
2 講演会

(1)「自閉症児の療育」(10:00~11:30)

講師:大阪府障害者福祉事業団

地域生活総合支援センターきらら

自閉症児支援センターSun 長富 義隆 先生

(2)「奈良県発達障害者圏域支援モデル事業について」(11:30~12:00)

報告者:平成20年度奈良県圏域支援体制整備事業

コーディネータ 鈴木 洋子 様

(休憩)

(3)「障害児療育支援パンフレットについて」(13:30~14:00)

報告者:知的障害児通園施設「仔鹿園」

コーディネータ 谷口 圭永子 様

(4)「障害児・者の療育に関して」(14:00~15:30)

講師:発達支援センター「青い空」(岡山県)

センター長 間庭 英明 先生

3 閉会あいさつ 奈良県自立支援協議会 療育教育部会長 小西 英玄

第1回奈良県自立支援協議会「療育・教育」講演会

～アンケート～ 集計

回答者32人／配布者57人

(回収率 56.1%)

A:講演会「自閉症の療育」(10:00~11:30)について

1. 講演内容について

	人数	※もっと知りたかった点などについて
①とてもよくわかった	16	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間と限られた期間で計画を作成した結果に到達しなかった例はなかったか？ ・追跡調査のような数年後の発達段階の様子を見る様なシステムはあるのか？ ・PECSを取り入れ際、1番最初に取り組みはじめの様子などについて。 ・活用される物をもう少し見てみたかった。
②よくわかった	14	<ul style="list-style-type: none"> ・進路選択で地域の学校に行かれた子どもはその後スムーズに学校へ行けているのかどうか？ ・PECSのI～VIについてもう少し詳しく聞きたかった。 ・保護者指導の内容をもう少し具体的に知りたい。
③あまりわからなかった	0	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての子どもにカードを使った方法を利用する方法が整理されるのでしょうか？ ・支援方法、支援成果等ももっとたくさん時間をとって聞かせて欲しかった。
④全くわからなかった	0	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールが身につくまでの様子をもっと詳しく知りたかった。 ・センターの専門職配置について。 ・地域に向けた研修会を実施されているが具体的な内容や対象について。 ・1時間の中で遊びあり、勉強あり、おやつありの1つ1つの時間配分がどのようにになっているか？ ・児童デイサービスで毎日どう療育したら良いのか、職員の意識を向上させるには…？
⑤未記入	2	<ul style="list-style-type: none"> ・障害の種別をはなれて、すてきなお話でした。

2. 講演内容の活用について

	人数	※もっと知りたかった点などについて
①とてもよくわかった	5	<ul style="list-style-type: none"> ・やりかけていますが十分な学習がまず必要だと痛感しました。 ・PEP-RやPECSについて具体的な指導事例。 ・時間が短かった。 ・活用前の子どもの様子と変化についてもう少し見てみたい。
②よくわかった	13	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の内容についてはよくわかりましたが、自閉症についての話をもっと聞きたかった。 ・「工事中の療育は？」の実践されたことを時間があればもう少し詳しく聞けたらよかったです。 ・スタッフの言うこと聞いてくれない年齢の大きな子どもさんがほとんどですが、ヒントを得られた様に思う。 ・もっと自閉症児に対しての具体的な教師の関わり方、援助の仕方を教えて欲しい。 ・「構造化」についてとても興味深かった。1つ1つの動きについて考えることの大切さを感じた。 ・療育のほどこした自閉症児がどこに巣立って、どのように成長したか、どのような連携を取っているのか知りたい。 ・PEP-Rの学習したい。
③あまりわからなかった	7	<ul style="list-style-type: none"> ・受け入れ人数が多く個別のかかわりがしにくいため構造化についてとりいれていきたい。 ・療育・教育の関係者で集まる機会がスタートし、今後具体的な取り組みに移っていくと思うが、そこで活用したい。 ・実施主体によって対象児童が異なる事と公的な人の関わり、環境によって異なるのが難しいと思う。 ・いろんなタイプの子がいるので、その場に応じて構造化できる所はしていきたい。
④全くわからなかった	0	
⑤未記入	2	

B:報告「奈良県発達障害者圏域支援モデル事業」(11:30～12:00)について

1. 事業実施(中和圏域)について

	人数
① 知つていた	14
② 初めて知った	15
③ 未記入	3

2. 事業内容において、興味のある事柄について(複数可)

	人数	※もっと知りたかった点などについて
① すこやかノート	14	<ul style="list-style-type: none"> ・時間が短かったのが残念。報告が数字だけになってしまった。気付いた事や効果・反省などの評価を聞かせて頂ければ、次にやってみようと思う人達が課題として引き継ぎやすいと思う。 ・身近に困っている人にもすぐ理解してもらえる内容なのでしょうか?
② サポートブック	17	<ul style="list-style-type: none"> ・時間の都合でスライドが早く続けて読む事が出来なかったので、配布資料にも載せて欲しい。 ・時間が30分と限られていたので、充分聞けなかったと思うが事業の取り組みは分かった。 ・取り組みが行われているのは少しだけ知っていましたが詳しい内容は分からなかった。 ・なかなか目に見えないので分かりにくい。 ・サポートブックの具体的な内容を知りたい。
③ 幼児手法ガイドブック	17	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の集まる機会で連携が課題として多く上がっていましたが方法が分からないのが現状。 ・研修会などには積極的に参加したいと思う。
④ 研修会等	12	
⑤ その他の	0	
⑥ 未記入	5	

C:報告「障害児療育支援パンフレットについて」(13:30～14:00)について

1. 事業実施について

	人数	※もっと知りたかった点などについて
① 知つていた	14	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉制度や支援費制度は入りにくいのでしょうか? ・分かりやすいパンフレット。統編(ホームページでも)ができれば。
② 初めて知った	16	
③ 未記入	2	

2. パンフレットの活用について

	人数	※もっと知りたかった点などについて
① すぐに活用したい	12	<ul style="list-style-type: none"> ・入所のケースは活用しきれないものもありそう。 ・療育について知識がないので自分自身読み込んで相談を受けた時にパンフレットの紹介や事例として紹介したい。 ・何も知らない人がとつきやすいよう作って欲しい。 ・パンフレットに対しての保護者の問い合わせ等。 ・現場で困った時に活用したいと思う。
② 活用したい	13	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット作成までの取り組み(概要)の説明でパンフレットの内容をもう少しして欲しかった。 ・しっかり読んで活用したい。
③ あまり活用できない	1	
④ 全く活用できない	0	
⑤ 未記入	5	

D:講演会「障害児(者)の療育について」(14:00~15:30)について

1. 講演内容について

	人数	※もっと知りたかった点などについて
①とてもよくわかった	13	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の支援計画の状況・広がりが何となく分かった。 ・自立支援協議会の推進や地域支援ネットワーク作りについてとても参考になった。 ・具体的に話して頂いたのでとてもよく分かった。知識はほとんどないが自分がすべき役割が理解できた。 ・自分はどの部分にいて、具体的にどういう動きをすればよいか分からず。 ・スライドが早く書き写しや、聞くことに集中できなかつたので配付資料に載せて欲しい。 ・実態に即した話で一番よく分かりやすかつた。 ・成功例、ケース等具体例が聞きやすかつた。 ・取り組み等よく分かり勉強になった。パワーポイントの内容をもう少し資料に入れて欲しかった。書きもれあり残念。 ・地域によって差があること。
②よくわかった	17	
③あまりわからなかった	0	
④全くわからなかった	0	
⑤未記入	2	

2. 講演内容の活用について

	人数	※もっと知りたかった点などについて
①すぐに活用したい	6	<ul style="list-style-type: none"> ・すぐに、一人で…というわけにはならない。 ・自分の役割が分かったので今回から実行していきたい。もっともっとお話を伺いたい。 ・しっかり読み返して考えたい。
②活用したい	22	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対してや学校側からの視点などもう少し聞きたい。 ・自園でのひとりひとりのケースについて、ご相談・アドバイスしていただければ…と思った。 ・成人期における療育について。幼児期に療育を受けられなかつた人への支援。 ・教育と福祉の連携がなかなかスムーズに進まなく困っている。囲いを取り除く方法を教えて欲しい。 ・市の取り組みによってサポート体制が分かるが、リーダー的な人がいない?いても公になっておらず分からない。 ・連携をしっかりとっていく事が大切だと思った。療育の重みも感じた。
③あまり活用できない	1	
④全く活用できない	0	
⑤未記入	3	

D:その他、感想等をご自由にご記入ください。

- ・現場にいるだけでは考えることができないようなことがたくさんあり、見直すきっかけにもなつたので参加してよかつた。
- ・時間が短いと感じた。2日でも良かった。内容は素晴らしいが駆け足だったので講師や報告者が気の毒だった。
- ・1日しっかり勉強させてもらいました。ホームページでもいいのでいろいろ情報送って欲しい。
- ・本日学ばせて頂いた事を活かせる様努めていきたいと思う。
- ・民間の営利会社(事業所)からの参加が少ない。内容も小さい事業所ではどうすれば役に立てるのか、保育所・幼稚園・行政向けの内容ばかりだと思う。もっと地域で、住まいの近くで利用できる施設が増えて欲しい。
- ・講師の選択もよかったです。濃度の濃い講演会だったと思う。
- ・同じ思いを持つ方が集まる講演会に参加できてよかつたと思う。実際に実践化していかないといけないと思う。
- ・現場で活かせるような内容の研修にして欲しい。今日聞いた話だけでは明日からの保育につながらない。
- ・責任の重さを改めて気付かされた。二次障害についてあまり理解していなかつた。関わりを難しくしている状況に二次的な要素を感じられることをしらされた。
- ・日常接している園児への援助の仕方が来週から少し考えて動けそう。健常児も障害児もその子どもに一番よい方法で援助出来るように勉強しなくてはと思った。
- ・小さい事業所なりに出来ることからがんばりたいと思った。
- ・誰向けの、何の目的の講演会なのかちょっと分かりにくかつた。
- ・市の担当者や保健師も参加し、共通認識が大切だと思った。
- ・療育という事について、またひとつ違う確認ができたと思う。